

2016年3月期 第1四半期

決算説明会

日本電産株式会社



Nidec® All for dreams™

FLEXWAVE

2015年7月22日

－注意事項－

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

（表紙右下の写真は、日本電産シンポが本年6月ロボット向け等に発表した高精度且つコンパクトな波動歯車減速機「FLEXWAVE」です）

連結決算業績

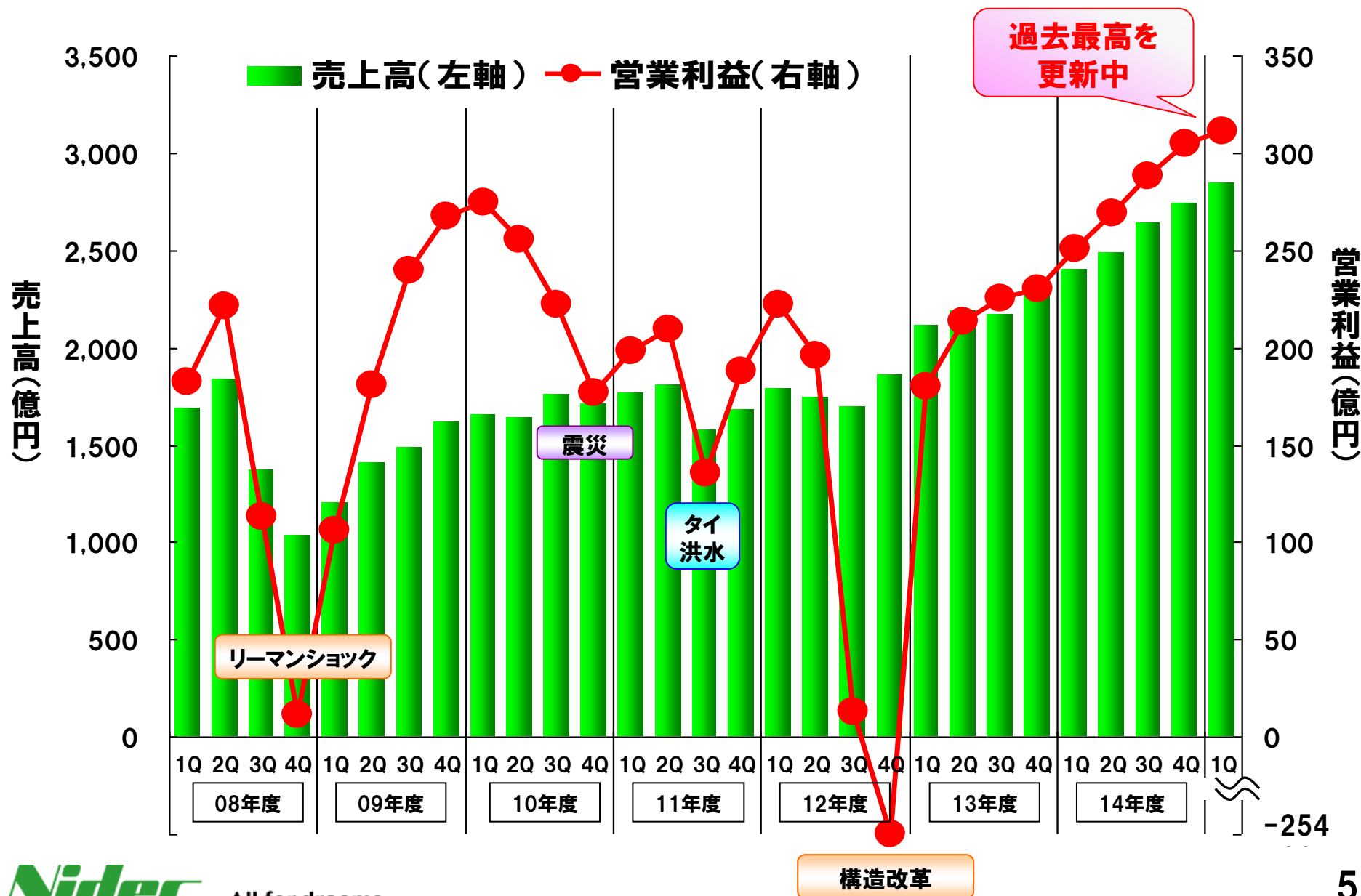
(単位:百万円)	14年度 第1四半期	15年度 第1四半期	増減	15年度 通期見込
売上高	240,188	285,041	+18.7%	1,150,000
営業利益 (営業利益率)	25,035 (10.4%)	31,061 (10.9%)	+24.1%	130,000 (11.3%)
税引前利益	24,454	32,705	+33.7%	126,000
純利益	17,573	24,196	+37.7%	90,000
一株利益(円)	63.72	81.99	+28.7%	302.87
対米ドル為替レート				
平均...	102.16円	121.36円	+18.8%	115.00円
期末...	101.36円	122.45円	+20.8%	(2Q以降想定レート)

為替感応度: 1円あたり米ドルは売上高68.0億円、営業利益8.0億円、
ユーロは売上高10.0億円、営業利益2.5億円(全てFY15通期ベース)。

第1四半期決算ハイライト

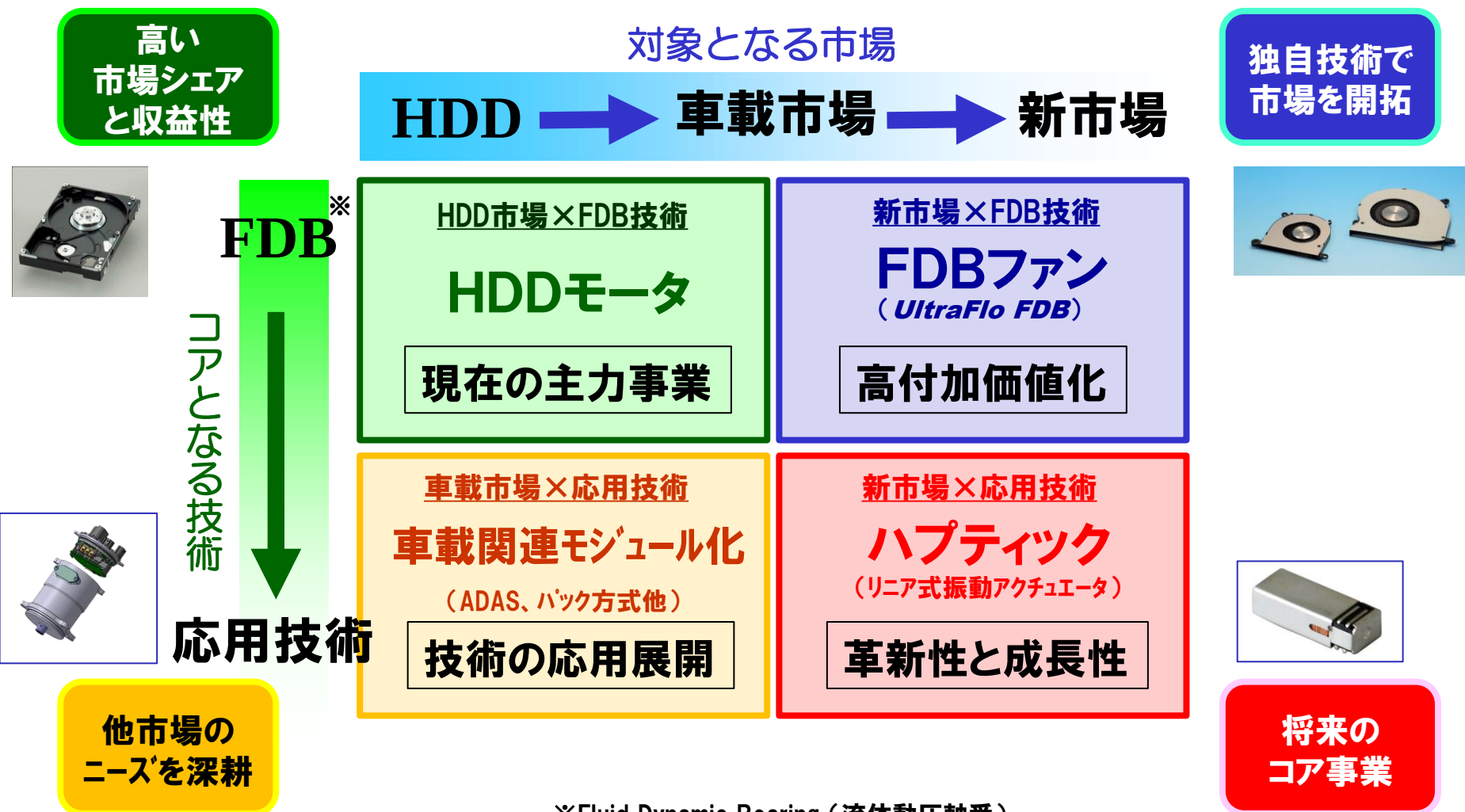
- 連結売上高、営業利益、税引前利益、純利益の全項目において、四半期業績としては**過去最高を更新。**
- 特に営業利益は、12年度の構造改革を経て**9四半期連続のQ/Q増益。**
- ビジネスポートフォリオ転換の推進役である「車載及び家電・商業・産業用」の営業利益も**9四半期連続のQ/Q増益。**

連結売上高・営業利益の四半期別推移



コア技術を活用・応用し、再成長を加速

FDBで培った精密加工技術により固定概念を超えた市場開拓を展開



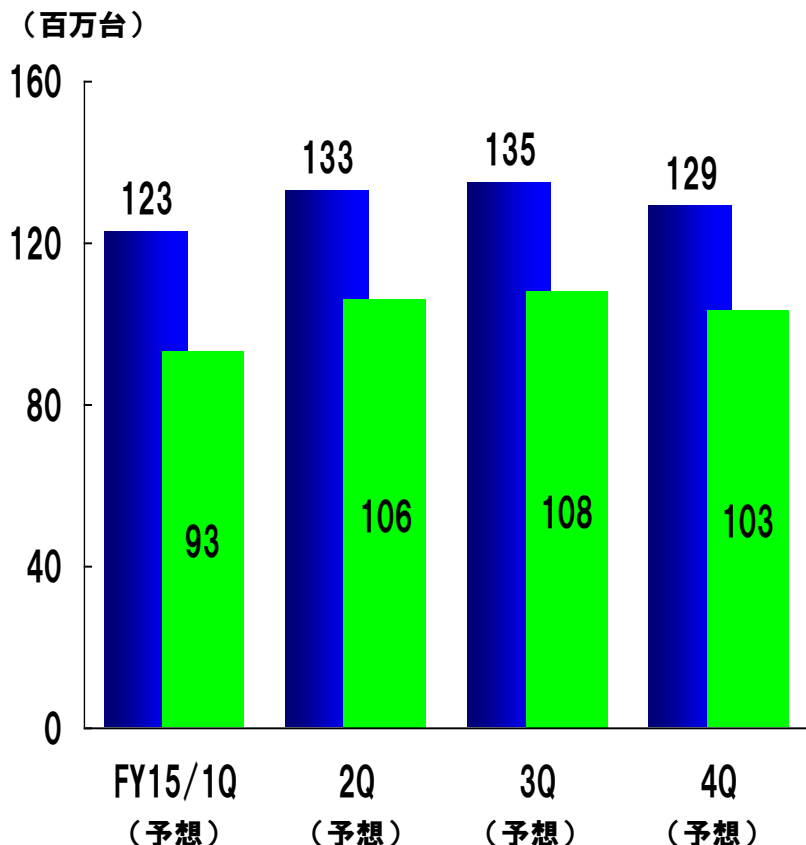
※Fluid Dynamic Bearing (流体動圧軸受)

当社HDDモータの出荷台数目標見通し

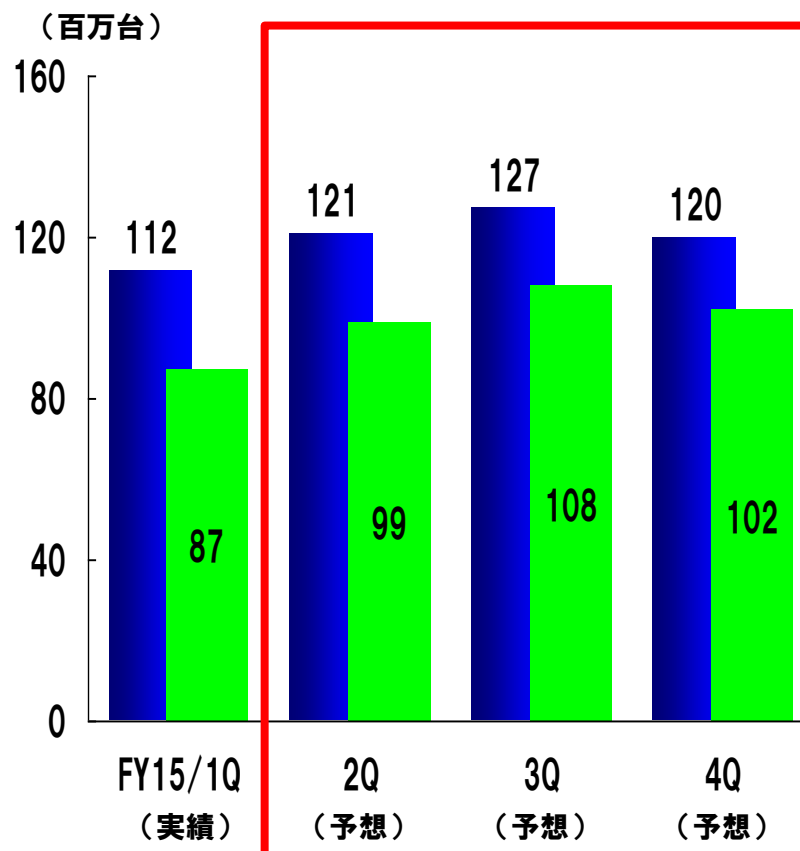
HDD市場(TAM)は若干弱含みも、当社モータはシェア増で抗戦

【前回のガイダンス】

(FY14、4Q決算時)



【今回のガイダンス】



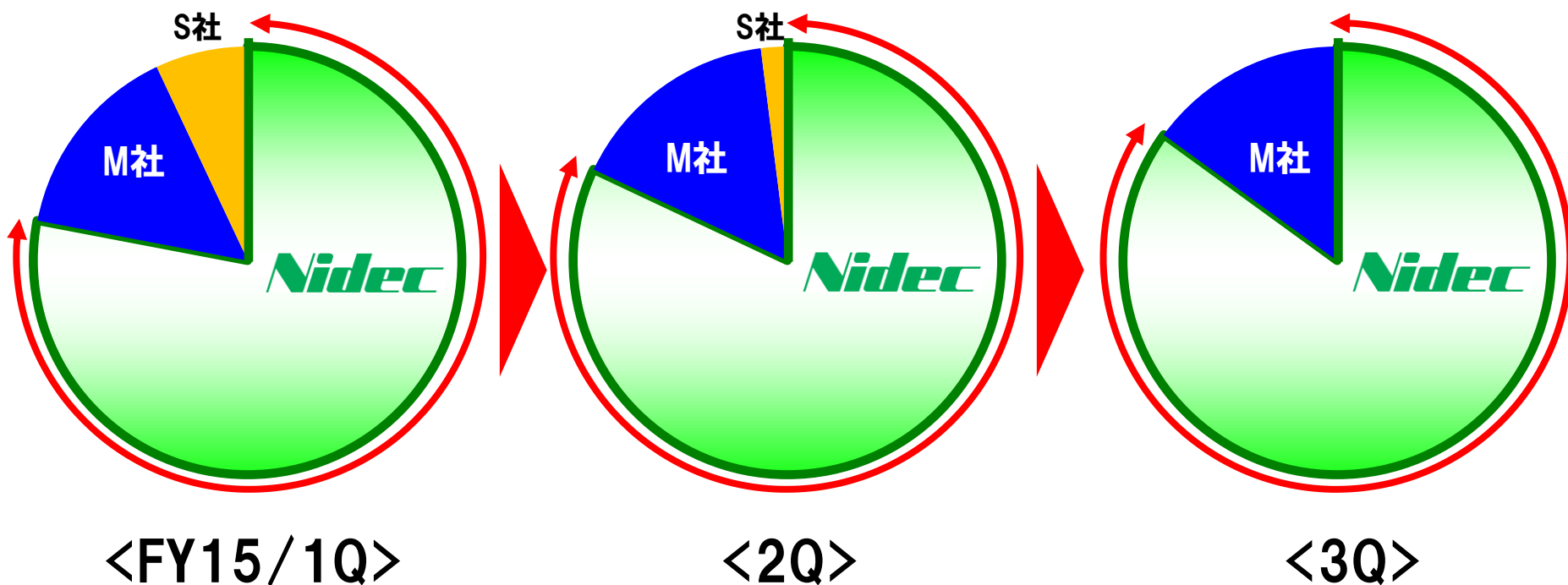
(各種資料より日本電産推定)

HDDモータ市場は徐々に2社体制へと収斂

安定した市場形成による生産性の改善で、収益性を更にアップ

【足元のHDDモータ市場シェア変化予想】

2社による供給体制



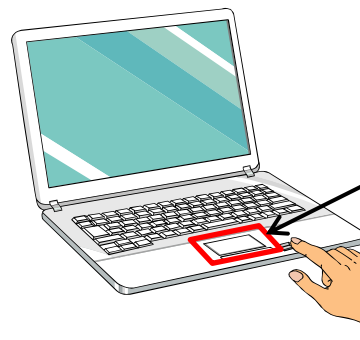
精密小型モータの世界に、**新市場誕生！** ハプティック(触覚)機器

スマホ



リニア振動
アクチュエータ

PC・タブレット



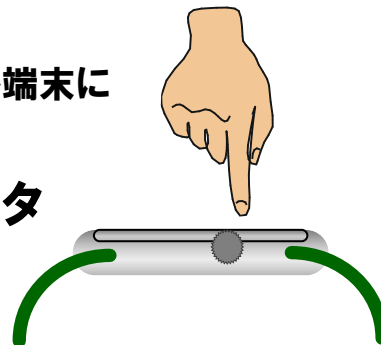
タッチパッドに
リニア振動
アクチュエータ

自動車



コクピット周りや
コントローラに
振動モータ

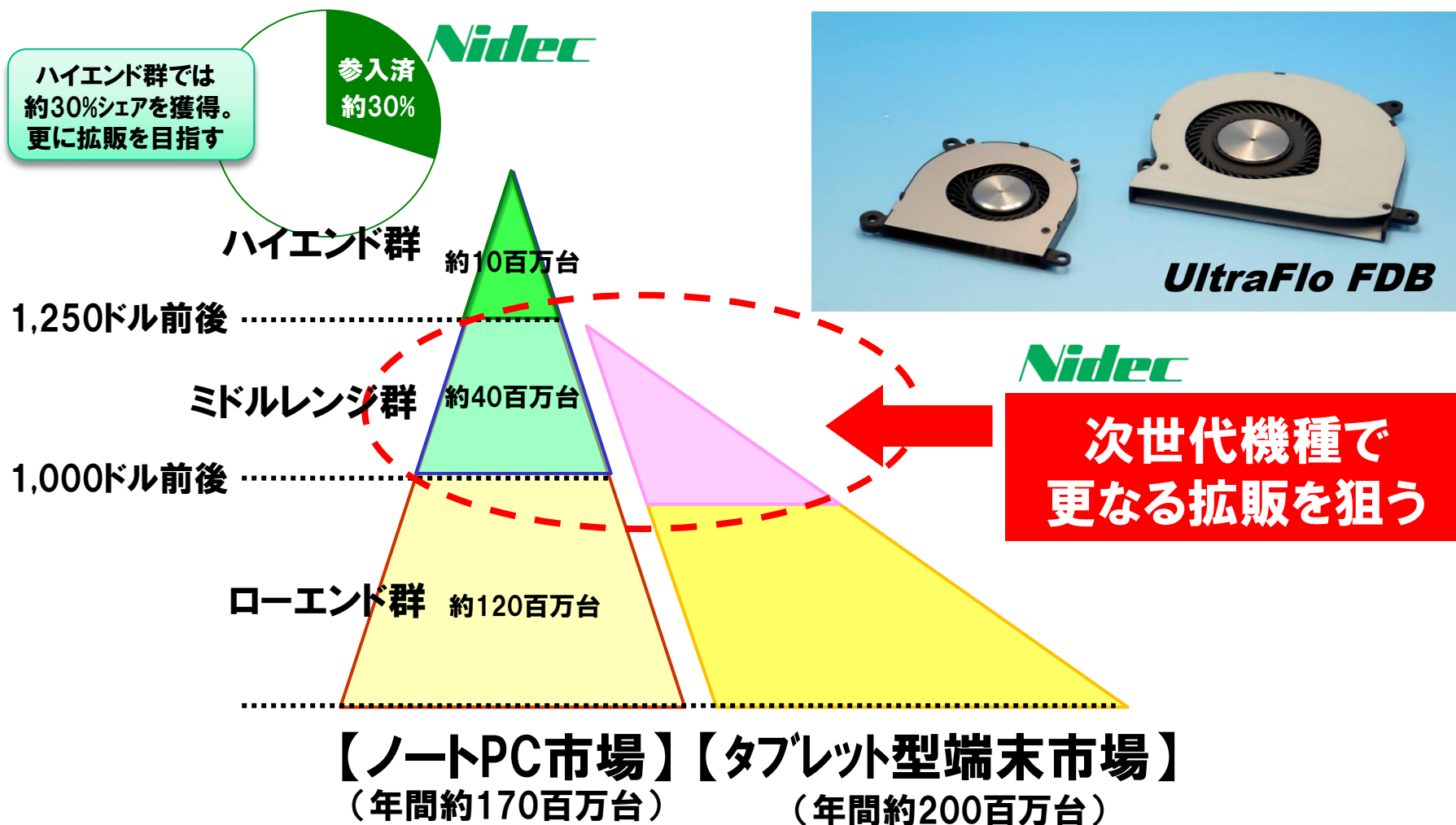
ウェアラブル端末 (時計型等)



各種ウェアラブル端末に
リニア振動
アクチュエータ

UltraFlo FDB の拡販戦略

ハイエンド群から攻略開始、ミドルレンジへも次世代機種を投入



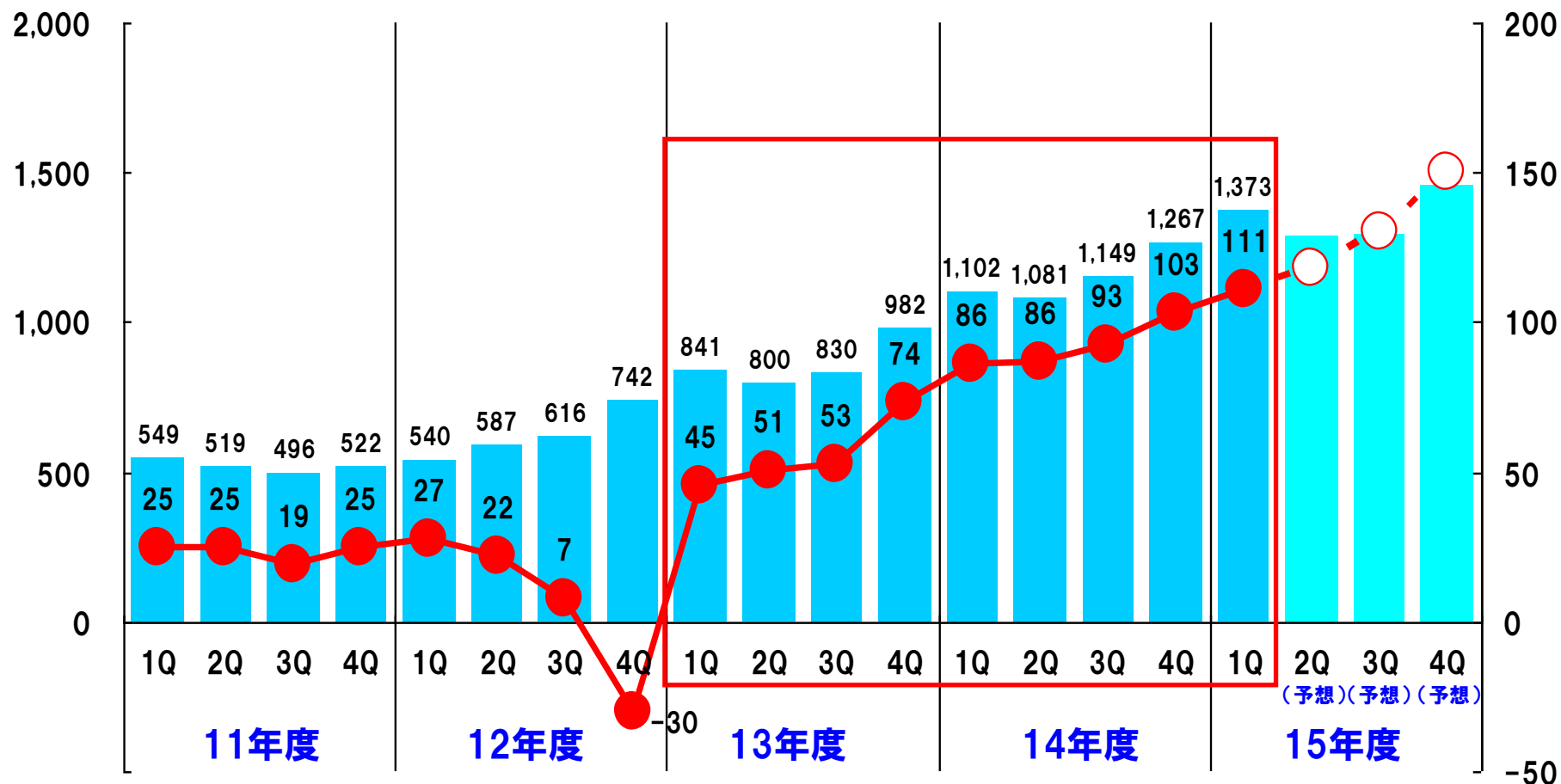
車載及び家電・商業・産業用の四半期推移予想

9四半期連続で続くQ/Q増益トレンドを15年度も着実に堅持

(売上高:億円)

■ 売上高(左軸) ● 営業利益(右軸)

(営業利益:億円)



伊・モートルテクニカ社を買収[※]

Nidec ASIのサービス事業を強化、発電市場への伸展を目指す

会社名: Motortecnica s.r.l.
本社: イタリア サレルノ市（ナポリ郊外）
設立: 1989年
事業内容: 発電機・モータ製品の設計、製造、
修理、メンテナンスサービス
（注力分野は大規模改修）
売上高: 11百万ユーロ（14年12月31日決算）

モートルテクニカ社の発電機や部品全体の設計・診断・修理・改修におけるモノづくり能力・経験とNidec ASIのワールドワイドな営業ネットワークを統合することで、Nidec ASIのサービス事業を更に強化・拡大



※2015年5月15日クロージング

「産業ソリューション」の事業領域

オイル・ガス



エネルギー



灌漑・農業



鉱業



鉄鋼
金属

一般工業



船舶



上下水道



建機
農機



2030年度10兆円を見据えて 新規大型事業を創生する



あらゆる「モノ」がインターネットを通じて「繋がる世界」

日本電産のIoT戦略

<進展しつつあるビジネス実例>

Smart Car

自動車



回るもの、動くもの

Smart Press

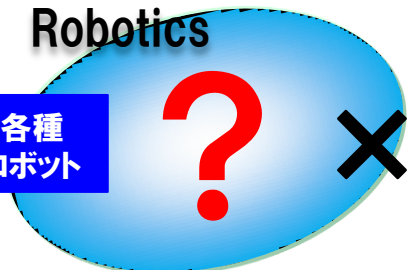
機械・設備



回るもの、動くもの

Robotics

各種ロボット



回るもの、動くもの

日本IBM
との取組み

AI

リアルワールド



スマート・プレス分野で日本IBMとの取組みを発表

Nidecグループ製品のIoT化で付加価値戦略を展開

Machine to Machine で
IoT ソリューション

アプリ/ソリューション

プラットフォーム

ネットワーク

デバイス

デバイスに精通する強みを
活かし、システム構築

センシング&コミュニケーション
端末により、クラウドサーバへの
繋ぎこみ

Smart
Factory



管理クラウド
サーバー

Smart
AGV

Smart
Press

ビッグデータ
分析エンジン

Smart
Energy

IoT見える化
ツール

Internet or Intranet

Factory
Access Point

Smart Hub

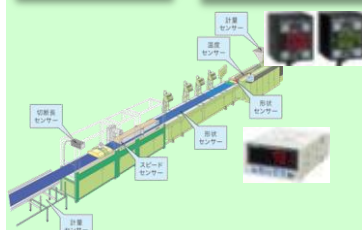
センサ

計測機器

AGV

製造設備

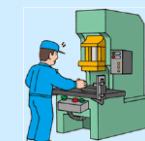
パワーコンディショナー



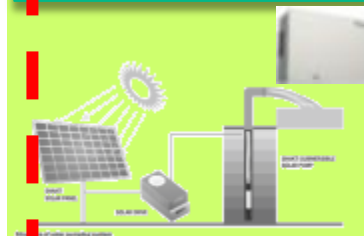
生産ライン



物流



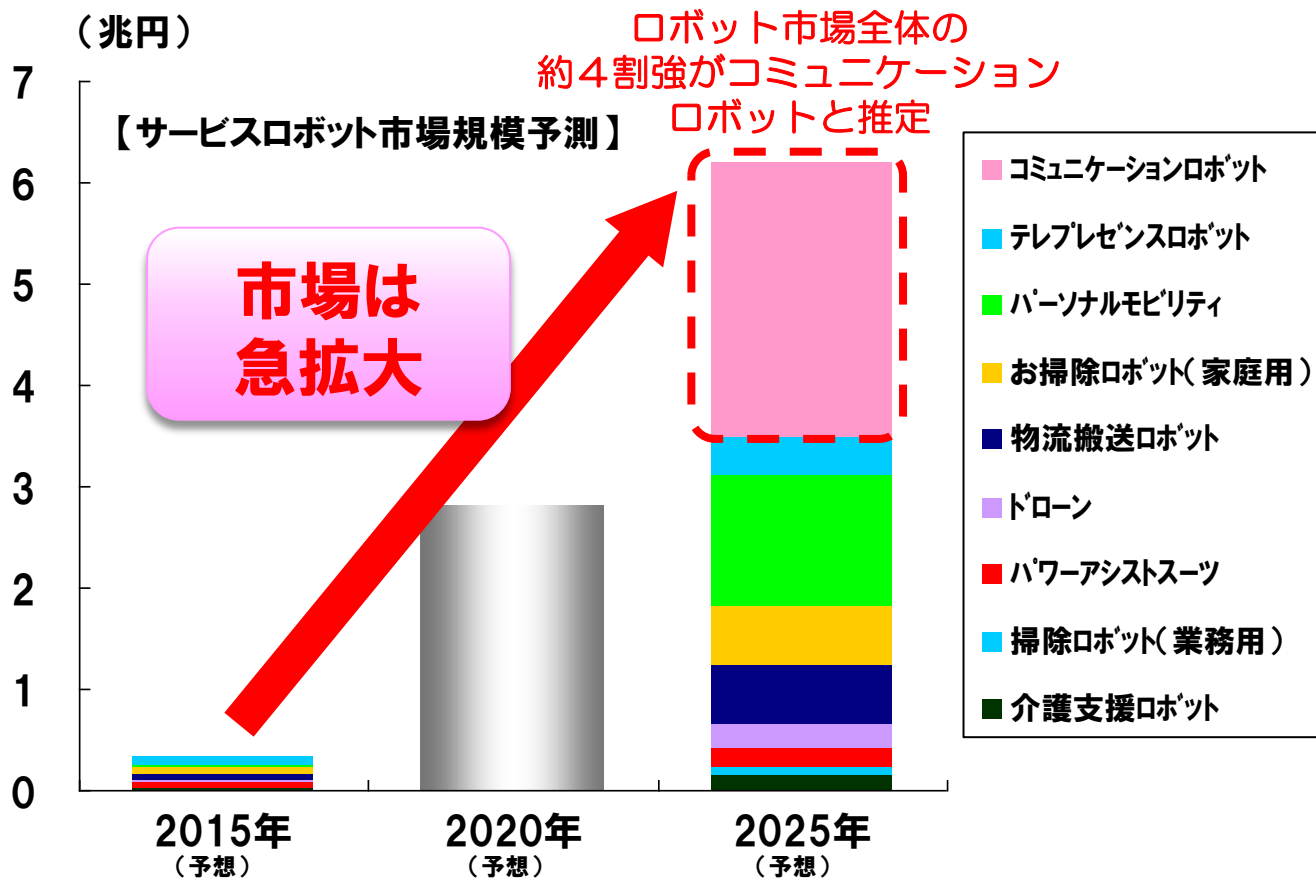
各種産業



太陽光発電
/ 灌漑ポンプ用

サービスロボット分野への本格参入を狙う

アプリケーション	介護支援ロボット	掃除ロボット(業務用)	パワーアシストスーツ	ドローン	物流搬送ロボット	お掃除ロボット(家庭用)	パーソナルモビリティ	テレプレゼンスロボット	コミュニケーションロボット



(各種資料より日本電産推定)



 All for dreams TM

お問い合わせ先

日本電産株式会社 広報宣伝・IR部

IRグループ

Tel: 075-935-6140

E-mail: ir@nidec.com

※注記:

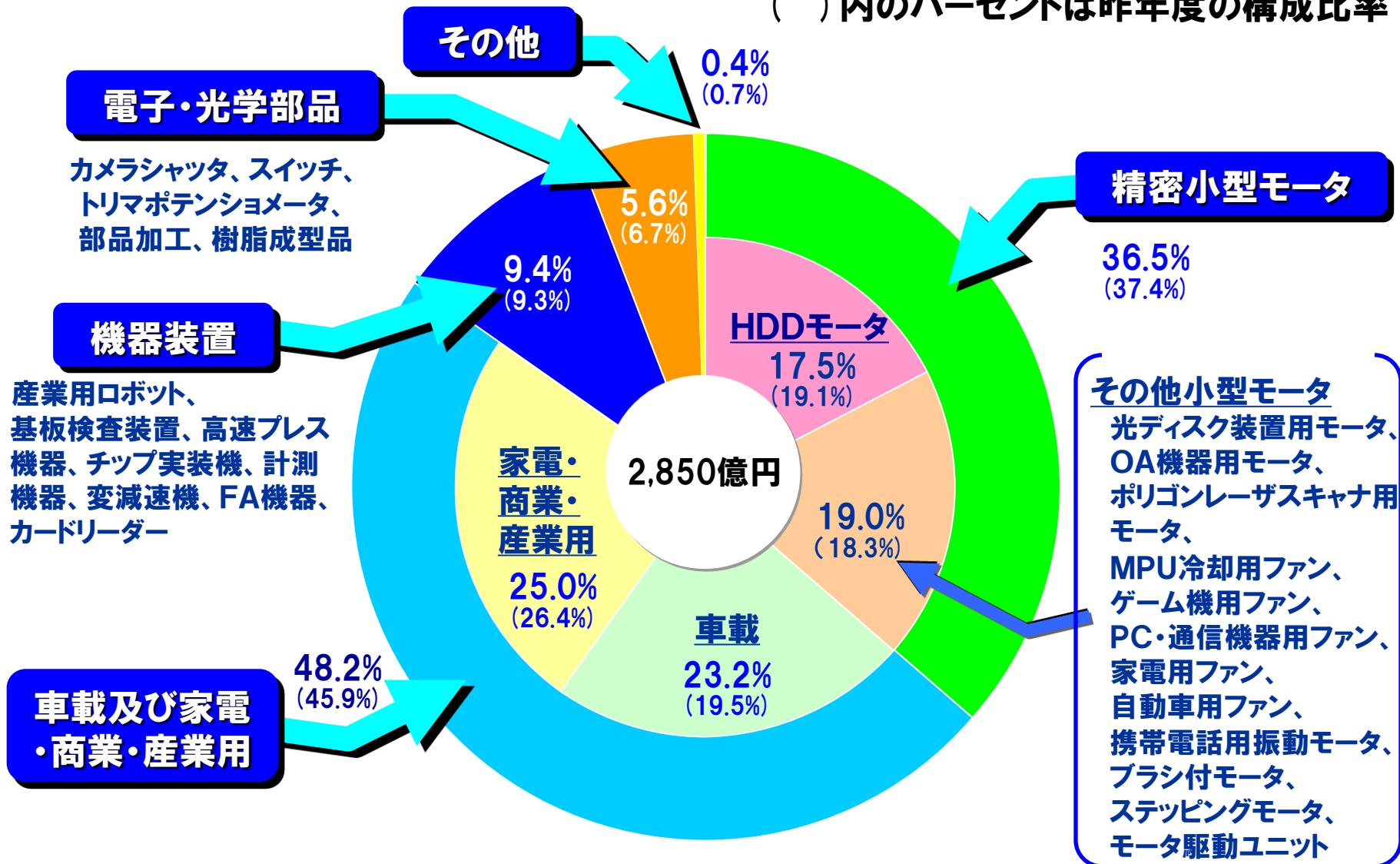
米国会計基準に基づき、FASB Accounting Standards Codification (ASC) 805「企業結合 (Business Combinations)」の規定を適用しております。前連結会計年度に買収を実施したNidec GPM GmbH及び当連結会計年度に買収を実施したMotortecnica s.r.l.にかかる取得した資産、引き継いだ負債は現在評価中であり、現時点の予備的見積りに基づいております。

業績推移・ 製品グループ別 状況

製品グループ別売上構成(FY15/1Q)

サービス、オルゴール関連商品

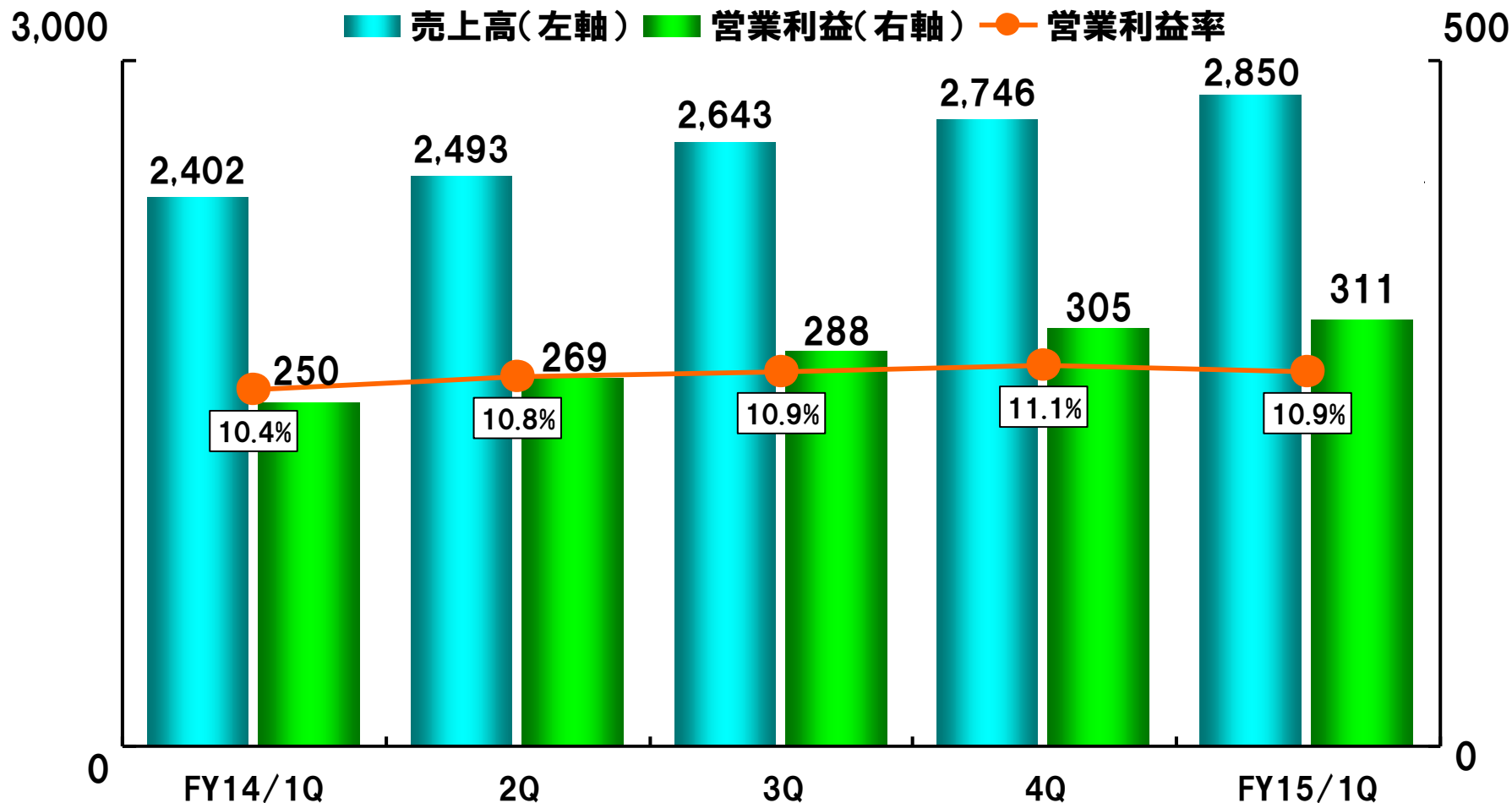
()内のパーセントは昨年度の構成比率



売上高・営業利益の推移

(億円)

(億円)

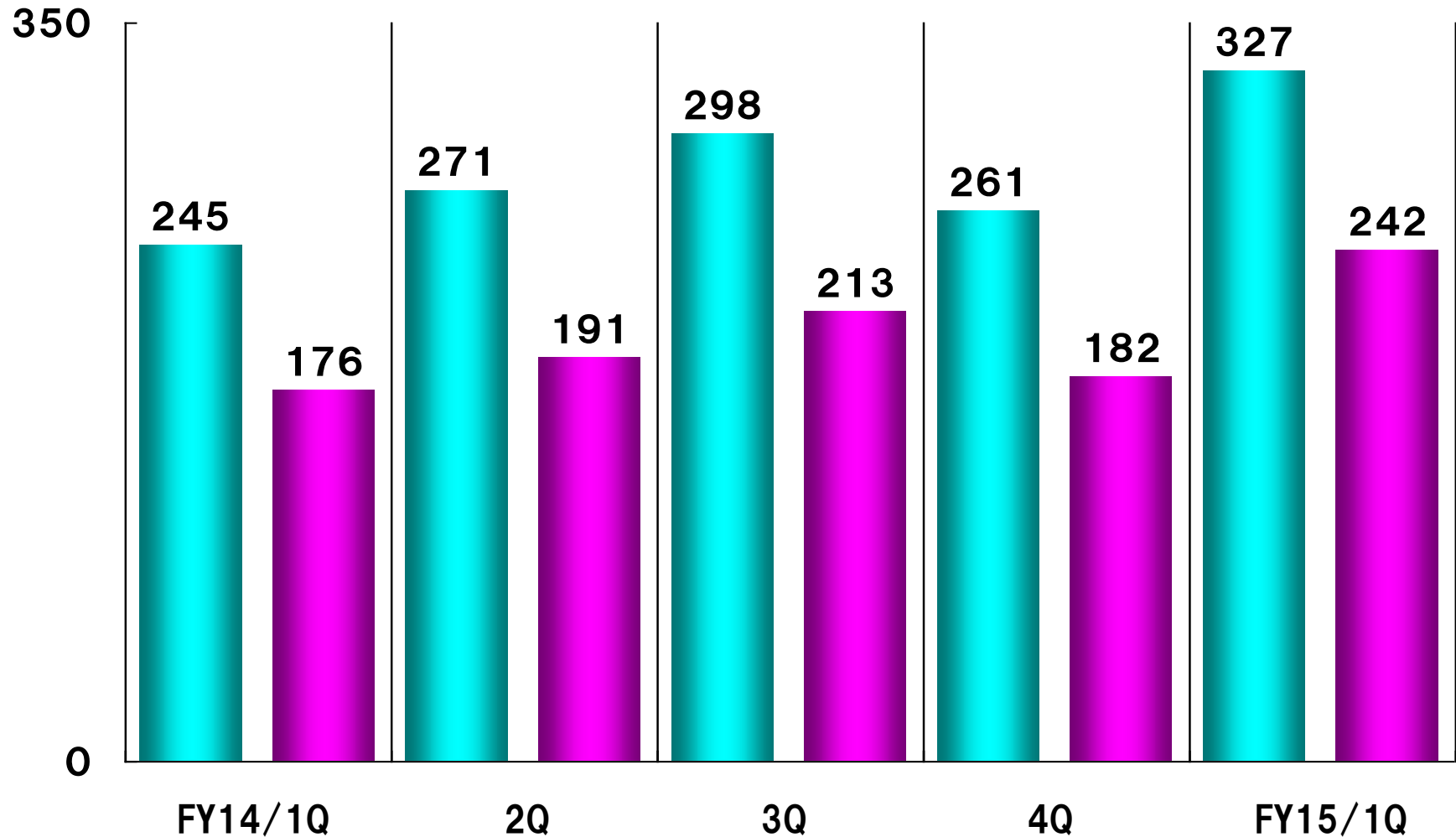


税引前利益・純利益の推移

(億円)

■ 税引前利益

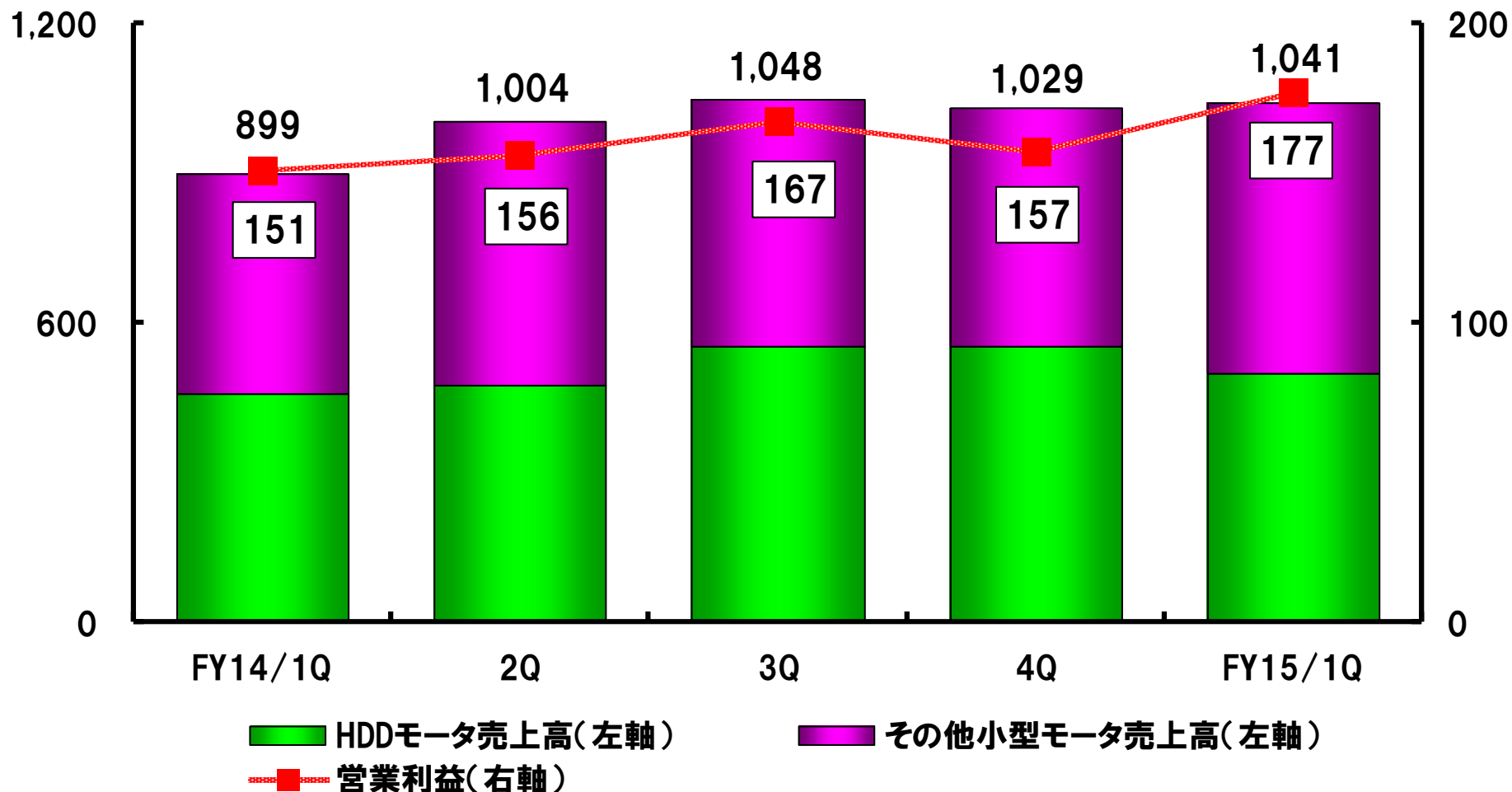
■ 純利益



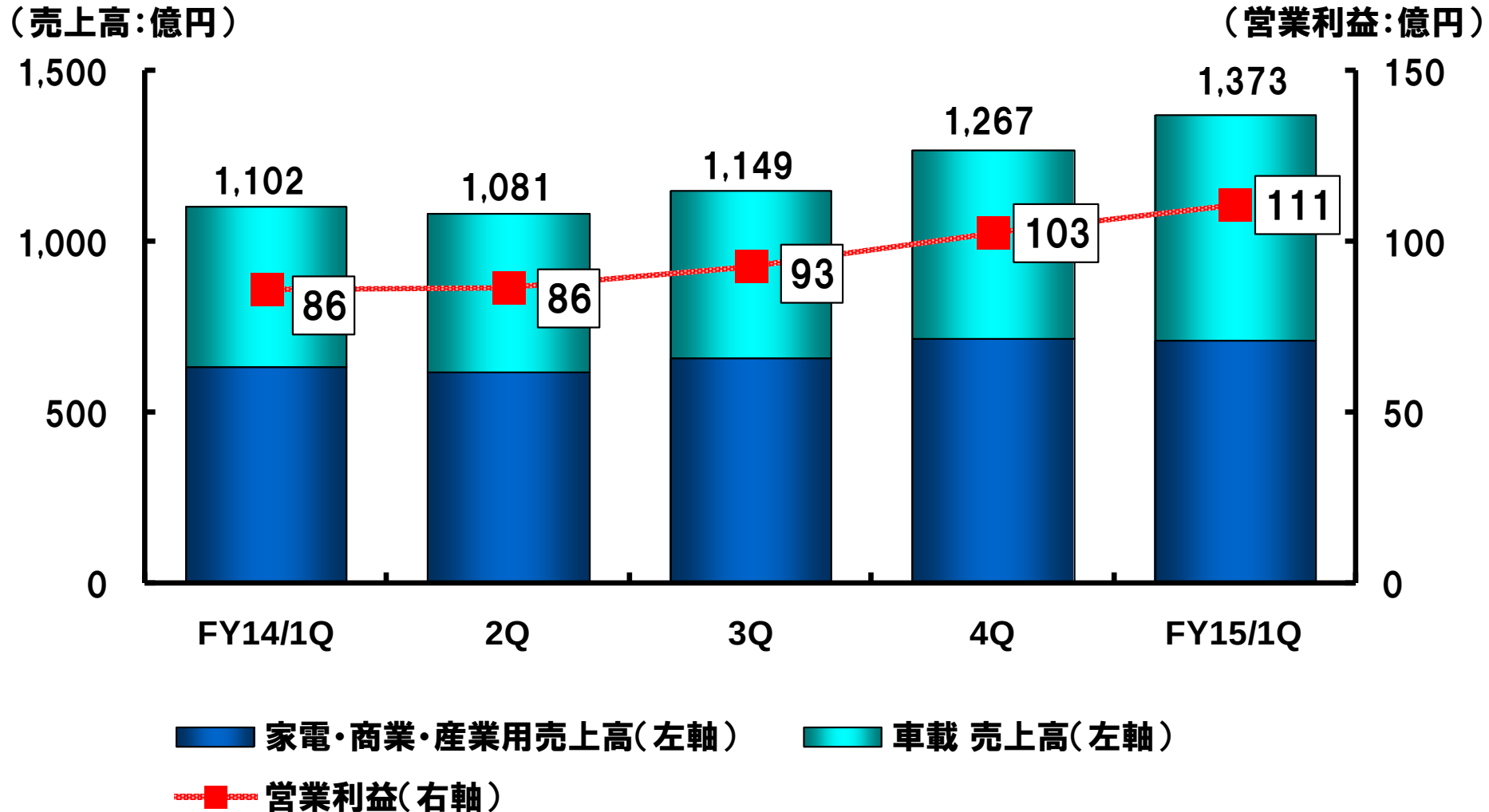
精密小型モータ

(売上高:億円)

(営業利益:億円)



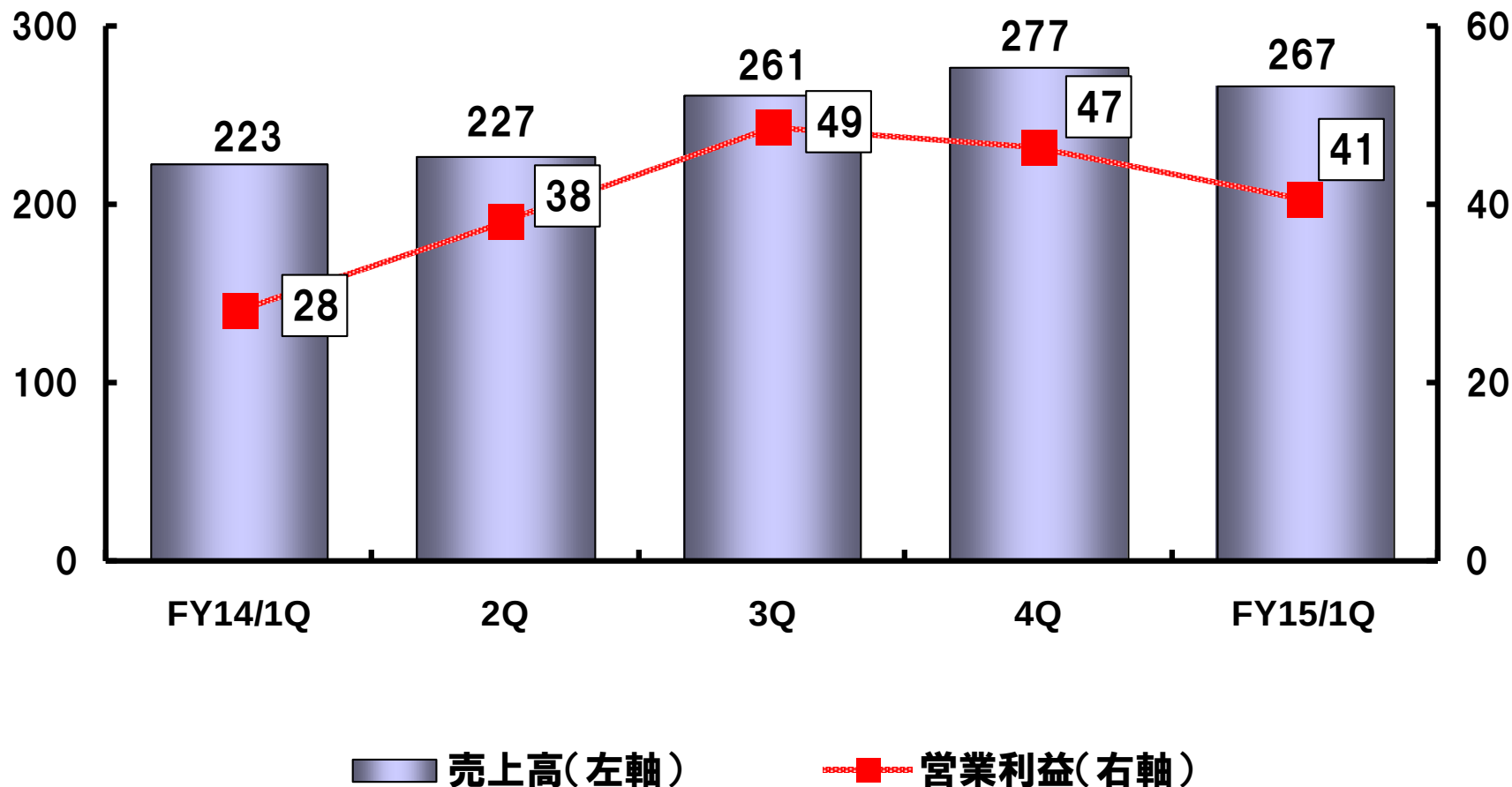
車載及び家電・商業・産業用



機器装置

(売上高:億円)

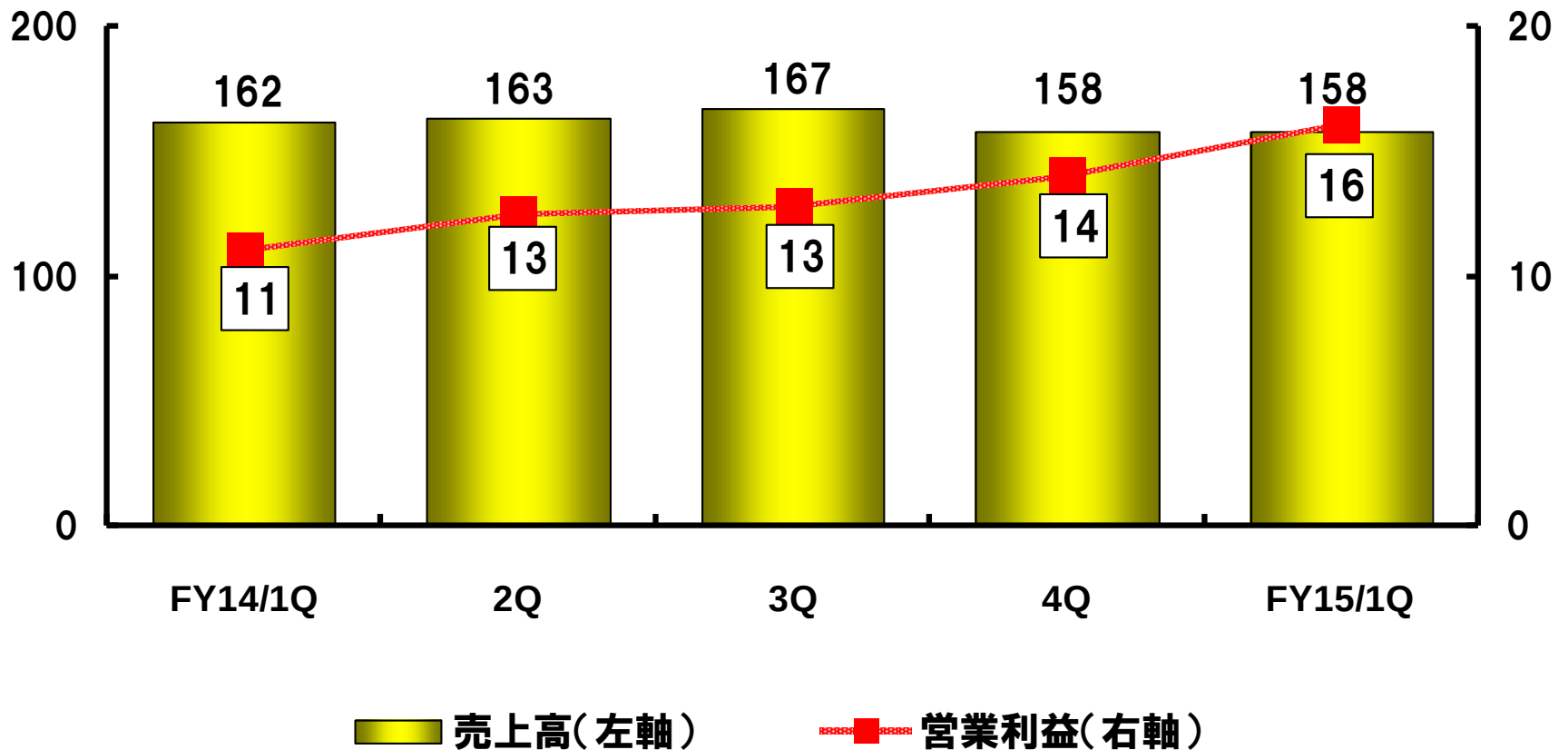
(営業利益:億円)



電子・光学部品

(売上高:億円)

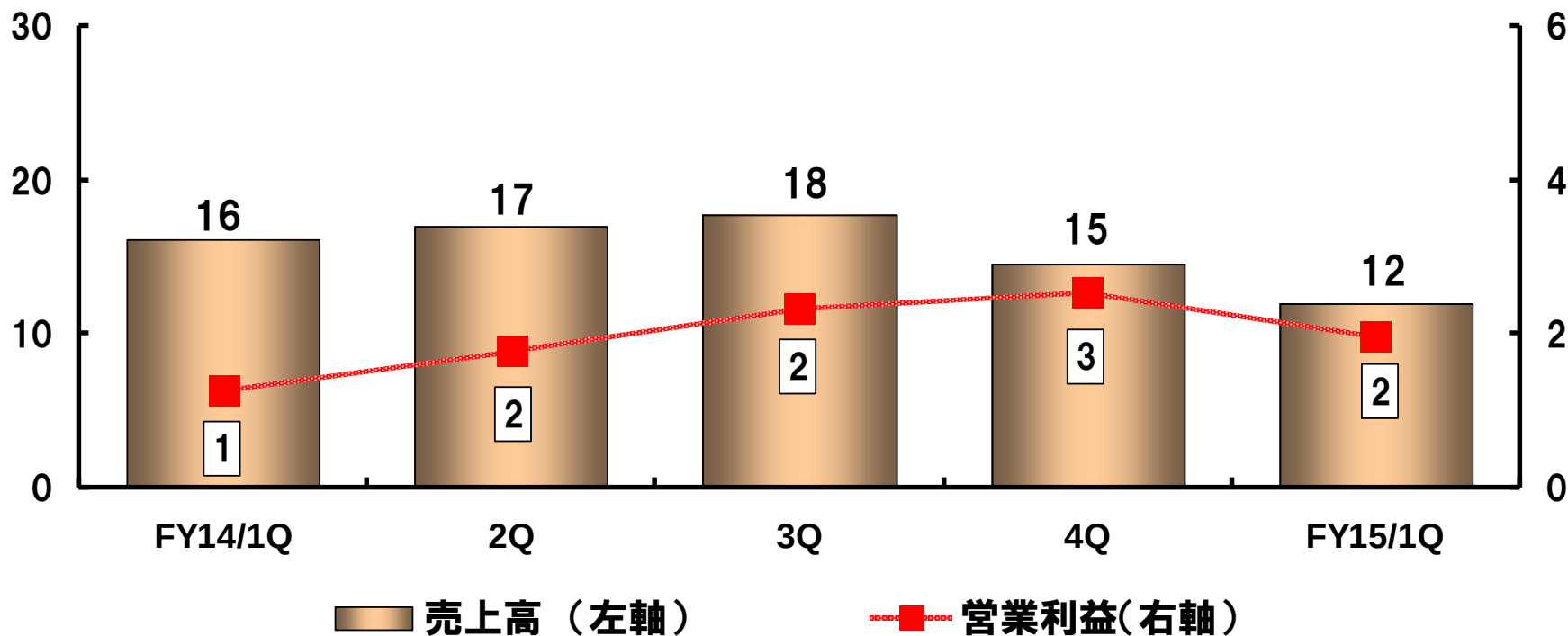
(営業利益:億円)



その他

(売上高:億円)

(営業利益:億円)



新中期戰略目標

Vision2020

2020年度 新中期戦略目標

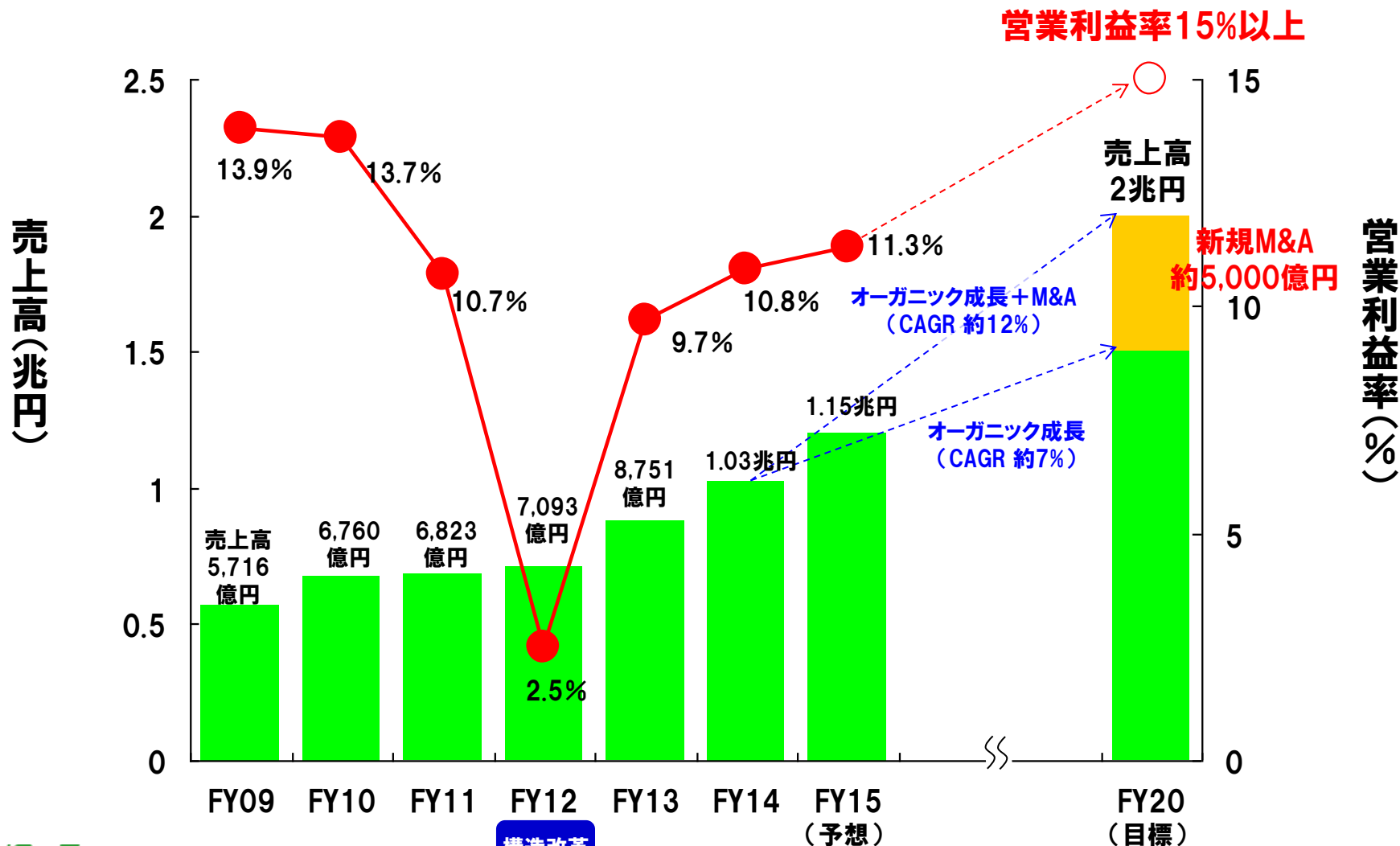
新中期戦略目標

利益ある高成長の飽くなき追求

- ① 連結売上高目標 2兆円
(新規M&A 約5,000億円を含む)
- ② 内、車載売上高目標 7千億円～1兆円
- ③ 連結営業利益率目標 15%以上
- ④ ROE(株主資本利益率) 18%以上
(株主資本比率60%を前提目標)
- ⑤ グローバル5極経営管理体制の確立

売上高と営業利益率の目標

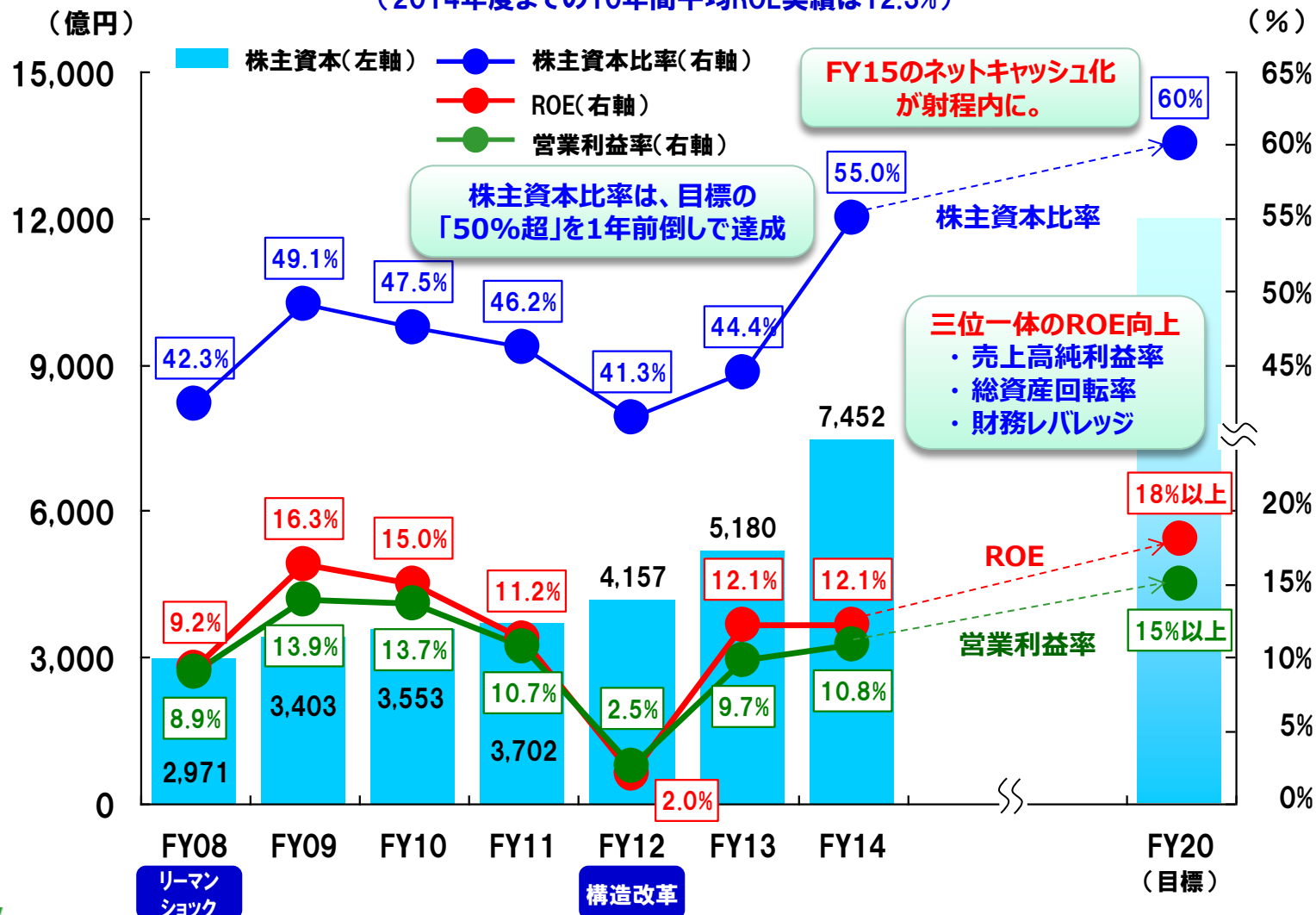
売上高成長(自律成長+M&A)と収益率の改善を両立させる



利益ある高成長と財務規律の両立

財務規律を維持・向上させながら 営業利益率15%/ROE18%を狙う

(2014年度までの10年間平均ROE実績は12.3%)



(2014年10月1日付にて、(株)日本格付研究所(JCR)は当社の長期発行体格付を従前のA+からAA-へ1ノッチ引き上げております)

利益あるグローバル高成長を支える仕組み作り

グローバル5極マトリクス経営管理体制の構築推進

成長戦略の基盤強化

- ・グローバル自律成長
- ・海外M&AのPMI加速

②中国

2012年 1月 中国管理統括会社始動

③アジア

各国別管理を発展的に地域統括化

④米州

2014年10月 米州統括会社始動

⑤EMEA

2015年 3月 再編登記申請完了

地域コーポレート機能(地域軸・機能軸)

事業別の経営管理機能(事業軸)

精密小型
モータ

車載

家電
商業
産業

その他

①日本

②中国

③アジア
(検討途上)

④米州

⑤EMEA※

地域統括会社が担う役割

- ①経営品質の向上
(ガバナンス・コンプライアンス・内部統制)
- ②経営効率の向上
(高品質・低コストの域内シェアードサービス)
- ③PMI(買収後の統合)の
積極サポート

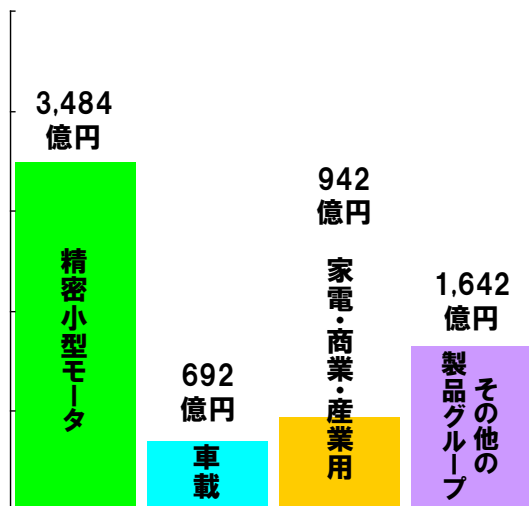
※EMEA・・・Europe, the Middle East and Africa (ヨーロッパ、中東及びアフリカ)

カテゴリー別のFY20売上高目標

技術革新を追い風とした高成長分野に経営資源を重点配置し、トップライン成長を再加速

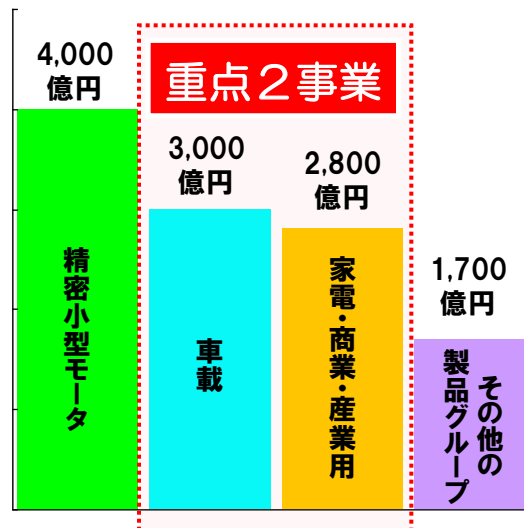
2010年度
売上高:6,760億円

(売上高:億円)



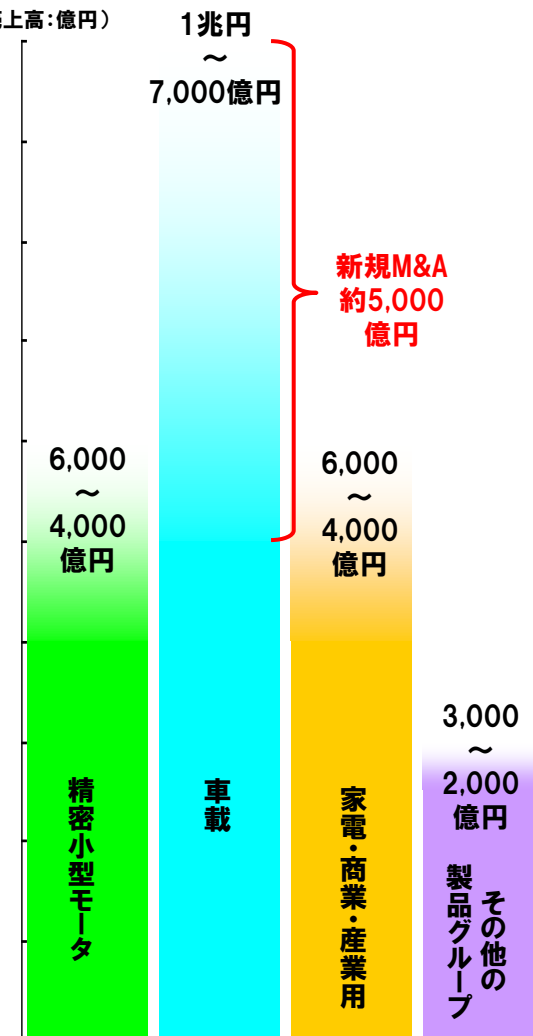
2015年度
売上高:1.15兆円(予想)

(売上高:億円)



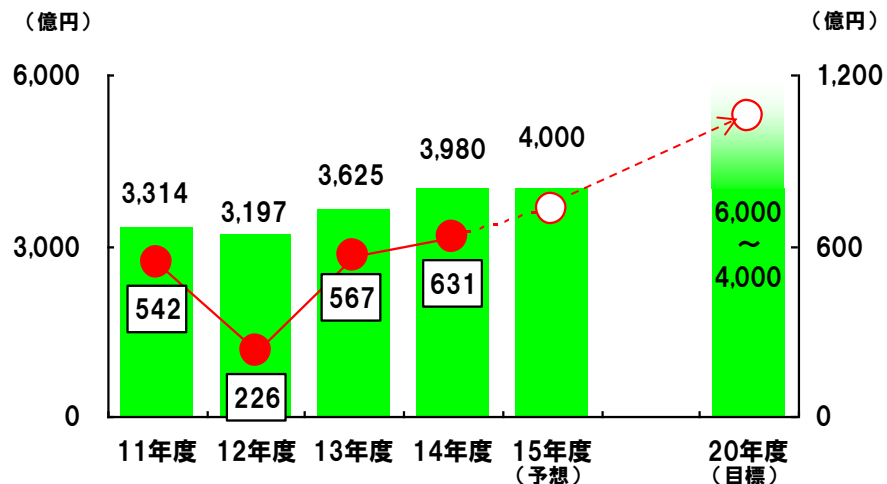
2020年度
売上高:2兆円(目標)

(売上高:億円)

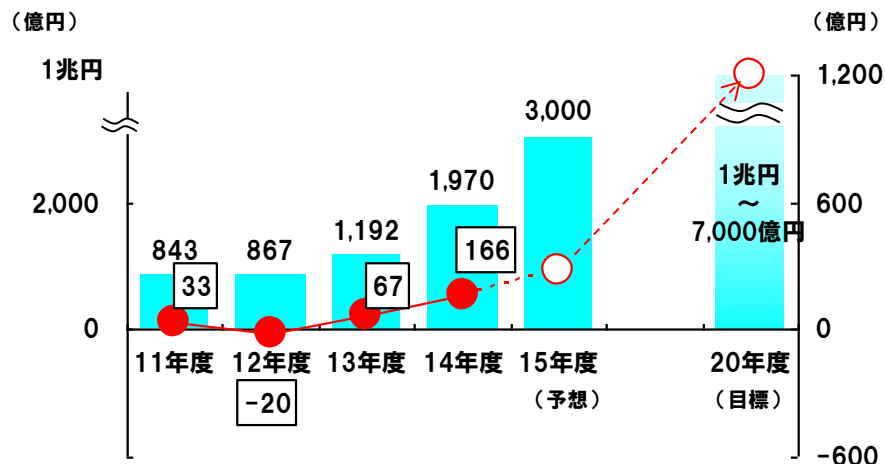


カテゴリー別の業績見通し

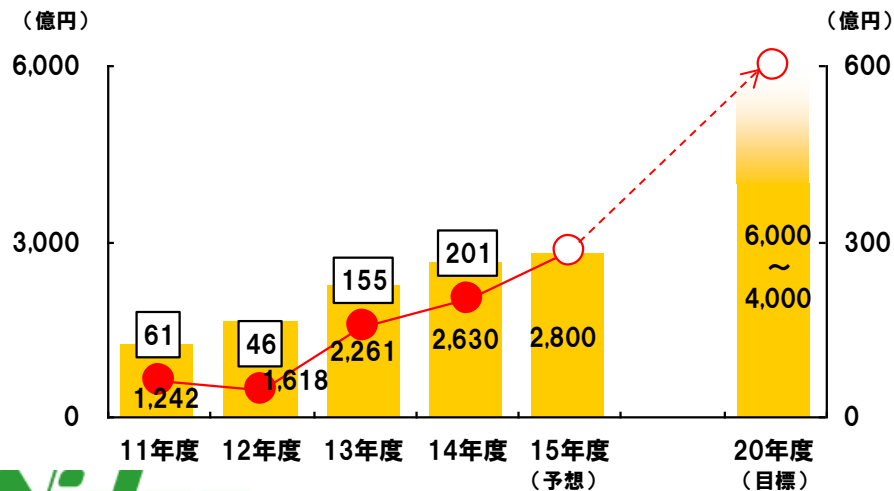
精密小型モータ



車載



家電・商業・産業用



その他の製品グループ

